

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	基礎看護実践論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	通年	教室名	1A・1B 教室・実習室
担 当 教 員	柏原 弘子	実務経験と その関連資格	看護師 病院,施設等で19年勤務 教育機関で勤務			
《科目目標》						
<p>①基礎看護学実習に向けて臨地実習に臨む基本姿勢(知識・技術・態度)を養える。</p> <p>②事例患者の必要な看護を考え実施、評価、修正の一連の過程で看護援助を考えることができる。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>【評価方法】マナー演習(5%)授業態度(10%)と終講試験(30%)、課題(40%)と演習(15%)を含め合計100点満点で評価。 但し、課題提出遅れや授業中の私語、積極性や協同性の欠如が見られた場合は減点とする。</p> <p>【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
デジタルナーシンググラフィカEX1巻 デジタルナーシンググラフィカ 19巻 基礎看護技術 I デジタルナーシンググラフィカ 20巻 基礎看護技術 II						
《授業外における学習方法》						
<p>①事前・事後学習を行い授業に出席する。課題提出は必須。</p> <p>②Teamsに送られる、資料、伝達は各自で必ず確認する。</p> <p>③提出物は、クラス単位で回収し指定した時間を守り提出する。</p> <p>④技術習得に向けて自己研鑽で取り組む。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>①グループワークや意見交換は時間を有効に積極的に行う。</p> <p>②演習・カンファレンスは、順番や役割を平等に全員で担い取り組む。</p> <p>③言える、書ける、行動できるよう主体的な学習姿勢で臨む。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	基礎看護学実習 I -①の準備ができる	実習要項 iPad 白衣一式	実習要項の実習ガイドス を読んでおく 身だしなみチェック表に基づ き自己・他者評価の実施 チェック後チェック表提出	
		各コマにおける授業予定	①臨地実習の望基本姿勢としての身だしなみ (服装・言葉遣い・態度)を考える ②実習初日の挨拶を考え実践練習する			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	基礎看護学実習 I -②の準備ができる	実習要項 教科書 iPad (個人ワーク)	①事前学習の提示 ②受持ち患者記録の作成 ③実習計画書の作成	
		各コマにおける授業予定	①事例患者の受持ち患者記録を記載する ②実習計画書の作成 日案から1日の目標、計画を立てる			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	基礎看護学実習 I -②の準備ができる	教科書 iPad (個人ワーク)	援助計画を作成 (環境整備、シーツ交換、配 膳・下膳、車椅子移送)	
		各コマにおける授業予定	①環境整備、シーツ交換、配膳・下膳、車椅子移送の 援助計画の立案(見学時の清潔援助、VS測定など)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	基礎看護学実習 I -②への準備ができる	教科書 iPad (個人ワーク)	援助計画を作成し提出 (環境整備、シーツ交換、配 膳・下膳、車椅子移送)  事前学習の作成	
		各コマにおける授業予定	①環境整備、シーツ交換、配膳・下膳、車椅子移送の 援助計画の立案(見学時の清潔援助、VS測定など)			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	基礎看護学実習 I -②の準備ができる	教科書 iPad 援助計画 白衣一式		
		各コマにおける授業予定	①環境整備、シーツ交換、配膳・下膳、車椅子移送の 援助計画を実施する ②環境の授業で学んだ療養環境の測定 (室温・湿度、照度計、騒音計、ベッド間隔の計測)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	基礎看護学実習 I-②の準備ができる	実習要項 教科書 iPad	援助計画の実施・結果、考えたことを記録し提出
		各コマにおける授業予定	①援助の実践したことから援助計画の実施・結果、考えたことを記録する。 ②例題からカンファレンス演習を体験		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	基礎看護学実習 I-②の準備ができる	教科書 iPad	実習計画表を提出
		各コマにおける授業予定	①リフレクションの思考について考える ②実習計画表のリフレクションの記載		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	肺炎事例から必要な看護援助を考える	教科書 iPad	ワークシートの①肺炎の病態、⑥⑦⑧発熱のメカニズム、体温の調節のメカニズムを予習学習し授業に臨む  授業終了後ワークシート提出
		各コマにおける授業予定	①臨床判断とは(気づき、解釈、反応、省察のプロセス) ②肺炎事例から必要な看護援助をワークシートに沿って学習する		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	肺炎事例の援助計画を立案できる	教科書 iPad 援助計画 (個人ワーク)	発熱時(発熱期・解熱期)の病態を解剖整理の理解を含めて復習し授業に臨む
		各コマにおける授業予定	①VS測定症状観察と(発熱時、解熱時)の援助計画を立案する ②VS測定症状観察と酸素管理と輸液管理の援助計画を立案する		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	発熱時の援助を実施できる。	教科書 iPad 白衣一式	
		各コマにおける授業予定	立案した援助計画をもとに、援助を実施(各15分) 実施したことをもとに患者の援助計画を評価・修正する		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	発熱時の援助を実施したことから評価し次回の工夫が考えられる。	教科書 iPad 個人ワークとGW	発熱時援助計画を提出 カンファレンス記録提出
		各コマにおける授業予定	VS測定結果と実施した援助をもとに計画を評価・修正する カンファレンスの実施 (30分) テーマ:発熱時の患者の援助について		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	酸素・輸液管理の援助を実施し、援助の評価・修正できる。	教科書 iPad 白衣一式	
		各コマにおける授業予定	酸素・輸液管理の援助計画をもとに、援助を実施(各15分) 実施した援助をもとに計画を評価・修正する		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	発熱時の援助を実施したことから評価し次回の工夫が考えられる。	教科書 iPad 個人ワークとGW	管理の援助計画を提出 カンファレンス記録提出
		各コマにおける授業予定	実施したことをもとに援助計画を評価・修正する カンファレンスの実施 (30分) テーマ:酸素・輸液管理の必要な患者の援助について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	報告について考える	教科書 iPad GW	報告のワーク用紙提出
		各コマにおける授業予定	①報告する必要があることは何か考える ②VS測定、症状観察の報告内容を考える ③報告のマニュアルを作成する ④考えた報告を学生役、指導者役で実践する		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	終講試験・まとめ		
		各コマにおける授業予定	終講試験+授業全体の振り返り 国家試験対策		